

明るい漁村

JF
JFしまね

漁業協同組合 JFしまね

第165号

発行日：平成19年9月1日

編集兼発行人：漁業協同組合JFしまね

題字：澄田(前)高根県知事

印刷所：松村印刷株式会社

漁業協同組合 J F しまね 総代会概要	2
会長挨拶	3
平成18年度決算状況	4
平成19年度事業計画	5~6
各種団体総会開催	7
浜の出来事(海浜清掃活動)	8



第2回

漁業協同組合 JFしまね

通常総代会



福田正明 島根県議会議長



溝口善兵衛 島根県知事



森田晟彦 議長

去る6月23日(土)午前10時よりホテル一畑(松江市千鳥町)で出席総代144名(内本人出席110名、委任状による出席2名、書面によるもの28名)により第2回通常総代会が開催された。

総代会では冒頭に岸 宏 JFしまね会長が挨拶し、引き続き来賓の溝口善兵衛島根県知事、福田正明島根県議会議長から祝辞を戴いた。続いて議事に移り、議長に温泉津地区・森田晟彦総代が選任され、以下

第1号議案 平成18年度事業報告書、貸借対照表、損益計算書、並びに損害処理案の承認を求めらるる件

第2号議案 平成19年度事業計画及び収支見込書の承認を求めらるる件

第3号議案 平成19年度における借入金の最高限度額決定の件

第4号議案 平成19年度内における理事及び監事の報酬決定の件

第5号議案 定款の一部変更に関する件

第6号議案 平成19年度賦課金の徴収に関する件

第7号議案 役員退任慰労金支出に関する件

第8号議案 役員補欠選任(理事1名)に関する件

全8議案とも原案通り承認された。特別決議として「竹島領土権確立に関する件」について提案し原案通り承認され、総代会は終了した。

○選任役員(理事一名)

小中竹雄

ごあいさつ

代表理事会長 岸

宏



本日、漁業協同組合JFしなね第二回通常総代会をご案内致しましたところ、公務ご多繁の央、溝口島根県知事様・福田島根県議会議長様・岡本水産振興議員連盟会長様・中島農林水産副委員長様を初め、ご来賓のご臨席を賜ると共に盛漁期ご多忙のところ総代各位多数のご臨席を戴き盛大に開会できまず事を先ずもって厚くお礼申し上げます。

昨年三月三十日に漁連を、四月一日には信用漁連を包括承継し、

名実共に総合事業体としてJFしまねがスタートして一年が経過致しました。

漁業をめぐる諸情勢は変動する社会経済動向にあつて、燃油価格の急激な上昇、大型クラゲの来襲等引続き厳しいものであります。

このような中で、実質事業初年度にあたる平成十八年度は、合併目的である「組合員所得の向上」と「経営基盤の確立」を目標に役員一丸となつて事業推進に努力して参つたところであります。

具体的には、合併に伴い販売手数料を六％に統一しこれ迄旧漁協と出荷先市場の両方で販売手数料を負担していた出雲・隠岐地区漁業者の二重手数料を解消し負担を大幅に軽減すると共に各市場共通仲買人制の導入とJFしまねが自ら開設する市場へ自己買参権取得のうえ参入する事を実現したこ

とよつて市場の活性化と魚価形成機能の強化を図ることができました。

一方、購買事業においては燃油・魚価資材について一括仕入体制を確立し、供給価格の総体的見直しを行い従来より安価な供給価格体系を設定し組合員の負託に応える事としました。

しかし乍ら激変する国際原油市況を反映し、それを上回る値上をせざるを得ない厳しい状況でもありました。また、氷供給価格については高価格地区について値下げ対応を行いました。

これらの諸施策によつてこの一年間で組合員が負担する生産流通コストを約五億円軽減することができました。一方、本県総水揚高二三五億円の約二十％強五十億円を本組合が直接買取・直出荷を行い、魚価維持を図り生産流通コスト軽減に併せ、組合員所得の向上に大きく貢献できたものと思料しております。

又、信用・共済事業については合併記念キャンペーンを実施し事業推進に努めたところであります。

決算の結果は、所定の諸引当金を計上後の税引当期剰余金は、当初計画を上回る一億一千二百万円となり、全額を繰越欠損金に充当する事と致しました。終始ご協力を賜りました組合員各位及び関係各機関に深く感謝申し上げます次第であります。

この一年間の事業を通じ、今後の経営基盤確立についてある程度の目途が立ったと考えられる一面、何分にもスタート直後であり、事業運営・事務システム等、見直し・再点検を要する事項も多く、今後更なる努力をして参る所存であります。

平成十九年度事業計画については、このような認識のもと将来志向に立脚し自立経営基盤確立の為、製氷工場の新設等諸般の設備投資も行ない乍ら、役員一丸となつて事業推進に取組み、計画利益の確保に努めて参ります。

本日の総代会には、決算・事業計画他諸議案を上程していただきますようご審議のうえ、ご承認賜りますようお願いし開会のご挨拶と致します。

貸借対照表

平成19年3月31日現在

(単位:円)

資 産		負債及び純資産	
科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
1 信用事業資産	40,888,220,561	1 信用事業負債	43,667,329,705
2 共済事業資産	94,045,871	2 共済事業負債	187,846,589
3 流動資産	4,116,494,092	3 流動負債	2,765,770,643
(1) 受取手形	32,086,500	(1) 支払手形	0
(2) 経済事業未収金	2,804,151,208	(2) 経済事業未払金	2,500,712,744
(3) 経済事業雑資産	238,356,287	(3) 短期借入金	0
(4) 棚卸資産	1,253,003,558	(4) 経済事業雑負債	16,349,759
(5) その他の流動資産	299,739,841	(5) 賦課金仮受金	2,000
(6) 貸倒引当金	510,843,302	(6) 未払法人税等	9,117,800
		(7) その他の流動負債	239,588,340
4 固定資産	8,691,961,890	4 固定負債	1,269,821,331
(1) 有形固定資産	5,683,035,912	(1) 長期借入金	474,358,993
減価償却資産	12,651,700,567	(2) 受入保証金	749,908,584
減価償却累計額	9,150,883,488	(3) 出資預り金	38,243,373
土地	2,083,176,683	(4) その他の固定負債	7,310,381
建設仮勘定	99,042,150		
(2) 無形固定資産	21,235,409		
(3) 外部出資	2,125,667,501		
系統出資	1,576,705,093	5 諸引当金	2,555,348,071
系統外出資	548,962,408	(1) 賞与引当金	65,553,000
(4) 長期特定資産	2,064,150	(2) 退職給付引当金	2,487,795,071
(5) その他の固定資産	2,579,084,316	(3) 遭難救助引当金	2,000,000
(6) 貸倒引当金	1,719,125,398		
5 繰延資産	170,850,309	6 再評価に係る繰延税金負債	21,257,712
		負債の部合計	50,467,374,051
		(純資産の部)	
		1 出資金	3,506,620,000
		2 資本準備金	2,107,893
		3 再評価積立金	0
		4 利益剰余金	77,694,332
		組合員資本合計	3,431,033,561
		1 土地再評価差額金	48,668,973
		2 株式等評価差額金	14,496,138
		評価・換算 差額等合計	63,165,111
		純資産の部合計	3,494,198,672
資産の部合計	53,961,572,723	負債及び純資産の部合計	53,961,572,723



平成18年度 決算状況
 平成18年度決算の概況は次のとおりです。
 本組合事業にご協力賜りました組合員各位、関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

損益計算書

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
1 事業総利益	2,985,465,185	(4) 諸税負担金	94,869,265
【信用事業総利益】	501,586,441	(5) 施設費	366,259,223
【共済事業総利益】	90,164,678	(6) 減価償却費	271,550,148
【購買事業総利益】	599,178,215	(7) 雑費	29,611,848
【販売事業総利益】	1,476,349,236	(事業利益)	77,719,979
【製氷冷凍事業総利益】	173,208,040	3 事業外収益	355,660,329
【加工事業総利益】	31,448,743	4 事業外費用	262,344,531
【利用事業総利益】	52,005,926	(経常利益)	171,035,777
【漁業自営事業総利益】	14,301,077	5 特別利益	26,252,016
【漁場利用事業総利益】	1,191,050	6 特別損失	75,511,004
【指導事業収支差額】	42,184,515	(税引前当期利益)	121,776,789
【無線事業収支差額】	3,847,864	法人税・住民税及び事業税	9,013,200
2 事業管理費	2,907,745,206	(当期剰余金)	112,763,589
(1) 人件費	2,008,896,161	(前期繰越剰余金)	297,220,059
(2) 旅費交通費	21,915,143	(当期未処分剰余金)	184,456,470
(3) 業務費	114,643,418		



となつて「しまねのさかな」の価値を創造し、魚価向上を目指す。

2. 購買事業

石油購買事業については、高騰を続ける価格に対し物の確保と安価仕入に努力する。

魚函については、一括仕入と直送体制が確立したので、組合員の全利用に努める。

一般資材については、本所・支所間の連携を密に取り可能な限り一括仕入体制と集中管理を行いコスト削減に努める。

3. 信用事業

県内6支所を信用取りまとめ店舗とした事務管理体制の再点検と信用事務の集中化・効率化と迅速化を図る。

JFしまねを受給窓口に指定された年金受給者（ほとと倶楽部会員）に対する特別金利による定期貯金の取扱開始など、年金受給者層の更なる取り込みを重点方策として取組む。

信用事業の実施基準である各法的規制への対応策を講じると共に、県域指定に伴い事務リスクを

回避するための体制整備を図り社会的信頼性の向上に努める。

4. 共済事業

新チヨコ一発足時の普及に基づいた取組みを継続し、終身保障を主体に加入者の増大を図っていく。

本年度制度改正した「くらしとカサイ」については、改正を契機とした目標を早期に達成することを主眼におき、最新の補償内容を適切な評価により提供していく。

5. その他の事業

冷凍冷蔵事業については、買取販売部門との連携を強化し、大漁時の魚価安定に努め稼働率の向上を図るとともにコスト削減に努力する。

製氷事業については、境港に新施設を整備し、氷の安定供給と価格維持に努める一方、各支所との連携体制を確立する。また石見地区においては、浜田・仁摩の両製氷部門の有効利用を行い、稼働率の向上、供給体制の強化を図る。

加工事業については、本所指導部・販売部門と連携し、新たな「し

まねブランド」の開発や商品開発をすすめる、生産物の付加価値向上を推進する。また施設の収益性及び必要性を考慮した事業の存続を検討する。

無線事業については、現在11局ある漁業用海岸局を中心局1局化にして島根県漁業無線局（仮称）を設立し、漁業通信を365日・24時間確保するとともに、島根県が開設している漁業指導用海岸局を併設・共同管理することにより合理的運営を行う。

管理・財務体制については、管理運営体制の強化を図るため、地区運営委員会、地区座談会等で検討を加えながらその体制整備に努める。

指導事業については、諸漁政対策事業、日韓・日中漁業協定関連漁業振興対策、基金構想事業の推進、また漁業再構築対策・担い手後継者対策・繁殖保護・漁場管理・営漁指導・生産、販売流通対策等の漁業振興対策を行うこととする。

重点推進事項

1. 販売事業

組合員の本組合市場への全利用に向けて積極的に取り組む。

仲買人の増加を図るとともに、自己買参権を積極的に行使し、魚価向上を目指す。

市場のニーズを組合員に適宜情報提供し、組合員・役職員が一丸



総代会で承認された賦課金の徴収については、次のとおりです。

賦課金の額

正組合員 年間3、000円

准組合員 年間2、000円

徴収期間及び徴収方法

平成19年8月31日までに本組合

口座に口座振り替えまたは振込み

等によって納付する。

平成19年度主要事業取扱計画

(単位：千円)

部 門	金 額	備 考		
経済事業	購 買 事 業	石 油 類	5,810,024	
		資 材 類	1,408,912	
		合 計	7,218,936	
	販 売 事 業	受託販売取扱高	25,297,358	
		買 取 販 売	4,430,389	
		合 計	29,727,747	
	冷凍冷蔵事業	冷凍品販売高	1,564,133	
		保 管 料	133,605	
		合 計	1,697,738	
	製 氷 事 業	水 供 給 高	627,538	
	加 工 事 業	加工品販売高	192,300	
		受入加工料	17,800	
合 計		210,100		
利 用 事 業	受入利用料	245,776		
漁協自営事業	販 売 高	265,313		
経済事業総取扱高		39,993,148		
信 用 事 業	預 け 金	26,004,000	平均残高	
	有 価 証 券	5,600,000		
	貸 出 金	9,272,000		
	貯 金	42,502,000		
共 済 事 業	長期共済保有高	普通厚生共済	51,976,000	
		生活総合共済	16,140,000	
		合 計	68,116,000	
	ねんきん		37,000	
	短期共済保有高	乗組員厚生共済	11,300,000	
		火 災 共 済	21,600,000	
合 計		32,900,000		

平成19年度収支計画

平成19年4月1日から平成20年3月31日

(単位：千円)

科 目	金 額
1 事業総利益	2,899,448
【信用事業総利益】	440,599
【共済事業総利益】	91,910
【購買事業総利益】	636,229
【販売事業総利益】	1,301,476
【買取販売事業総利益】	139,355
【冷凍冷蔵事業総利益】	22,873
【製氷冷凍事業総利益】	131,256
【加工事業総利益】	28,627
【利用事業総利益】	38,239
【その他事業総利益】	3,665
【無線事業収支差額】	5,058
【指導事業収支差額】	60,201
2 事業管理費	2,823,134
(1) 人件費	1,970,053
(2) 旅費交通費	16,840
(3) 業務費	112,120
(4) 諸税負担金	89,846
(5) 施設費	356,138
(6) 減価償却費	260,982
(7) 雑費	17,155
(事業利益)	76,314
3 事業外収益	2,858,405
4 事業外費用	2,729,465
(経常利益)	205,254
5 特別利益	16,000
6 特別損失	0
(税引前当期剰余金)	221,254
法人税・住民税	9,013
(当期剰余金)	212,241

島根県まき網漁業協議会 設立総会開催

6月23日(土) ホテル一畑(松江市)において、島根県まき網漁業協議会設立総会が開催された。県下漁協が合併しJFしまねとなったことを基に、新たに設立されたもの。本協議会設立までの経過報告、事業計画・収支予算について説明・協議がなされた後、役員決定について協議された結果、会長に事代丸(西郷支所)・牧野正義氏、副会長3名に祐生丸(西郷支所)・野津千寿夫氏、共幸丸(浦郷支所)・平木操氏、裕丸(浜田支所)・渡辺恭郎氏がそれぞれ就任された。

会長	牧野 正義	(有)事代丸
副会長	野津千寿夫	祐生水産(有)
	平木 操	(有)共幸水産
	渡辺 恭郎	裕丸漁業生産組合
理事	池田 英雄	丸大漁業(有)
	福本 秀人	(有)天祐丸
	小中 竹雄	浦郷水産(有)
	門 哲二	一丸
	吉田 勝一	(有)吉勝漁業
	森脇 寛	若葉漁業(有)
監事	小林 啓一	親浩漁業生産組合
	築谷 允行	JFしまね

第16回島根県若い漁業者のつどい開催

6月30日(土) 大田商工会議所(大田市)において、島根県漁協青年部連合会による「第16回島根県若い漁業者のつどい」が約70名の参加のもと開催された。雲南市光明寺住職・杉原顕道和尚を講師に迎え「21世紀のメッセージ」青年よ立ち止まな 振り向くな」と題した講演では、若い世代の漁師が先頭となり、がむしゃらになんでも挑戦してほしいなど、時より「喝」が入る場面もあり、参加した若い漁業者に対し、住職ならではの一味違う熱いメッセージが送られた。引き続き第15回島根県漁青連通常総会が開催され、全議案とも原案通り承認された。



新役員自己紹介

島根県小型機船漁業協議会 第18回通常総会開催

6月16日(土) 地域職業訓練センター(大田市)において、島根県小型機船漁業協議会第18回通常総会が開催された。議長に、温泉津のさち丸・木曾 繁氏が選任され、平成18年事業報告・収支決算書、平成19年度事業計画・会費収入・収支予算書について審議され、全議案とも原案通り承認された。続いて日韓民間漁業者団体間協議、2007年度日韓漁業操業状況、島根県漁業無線局1局化構想、ミズダコかご漁業の試験操業結果、小底モデル船の操業状況について協議報告事項として説明がなされた後、外人漁業研修受け入れ事業について、実際インドネシアから研修生を受け入れている栄徳水産・藤井社長より、研修生の現況を交え説明がなされた。その他質疑応答では、小底魚ブランド化について、また休出漁問題について活発な意見がなされた。

島根県漁協女性部連合会 第51回通常総会開催

6月13日(水) ホテル一畑(松江市)において、島根県漁協女性部連合会第51回通常総会が開催された。総会に先立ち、平成18年度島根県女性漁村指導士に認定された小笹陽子氏(御津漁協女性部)・林喜恵氏(五十猛漁協婦人部)・澤野くに子氏(浦郷漁協女性部)の3名へ、肥後県農林水産部次長より認定書の授与が行われた。

総会では、議長に田中田鶴子氏(大社町漁協女性部)が選任され、議事に入り、全議案とも原案通り承認された。

総会終了後、第12回全国青年・女性漁業者交流大会において農林水産大臣賞を受賞された青山幸子氏より報告発表会が行われた。



県女性連 青山幸子会長

浜の出来事

各地で

海浜清掃実施

海の日を中心に海浜清掃活動が県内各地区で開催されました。台風4号の影響で、延期又は中止した地区もありましたが、総勢1,230名の参加のもと、一般ゴミ766袋、不燃ゴミ898袋、その他27トトラック5台、コンテナ3台のゴミが回収されました。回収されたゴミの中には、流木・ロープ・スチロール・ハンゲル文字容器など漂着物のほか場所によっては、空き缶・ペットボトル・コンビニ弁当殻などレジヤード訪れた人達によるポイ捨てゴミも目立ったようです。

平成19年度実施状況

実施日時	JFしまね	実施場所	参加人数	
7月14日	美保関支所	七類港周辺	40名	
		笠浦港周辺	35名	
		福浦地区地先海岸	45名	
		美保関地区・雲津地区・長浜地区・海崎地区地先海岸	100名	
		仁摩支所	仁摩港周辺・宅野港周辺	70名
7月15日	平田支所	大社支所	湖陵港周辺	50名
		大田支所	久手地区地先海岸	100名
7月16日	西郷支所	大社支所	塩津地区地先海岸	60名
		平田支所	地合地区地先海岸	80名
		平田支所	三津地区地先海岸	40名
		平田支所	河下地区地先海岸	30名
		平田支所	小津地区地先海岸	30名
7月22日	平田支所	大社支所	多伎地区地先海岸	235名
		大社支所	那久地区地先海岸	60名
		大社支所	蔵田地区地先海岸	15名
7月15日	西郷支所	大社支所	蛸木地区地先海岸	80名
		大社支所	知夫村全域地先海岸	70名
7月22日	平田支所	大社支所	塩津地区地先海岸	60名
		大社支所	釜浦地区地先海岸	30名



塩津地区海岸



小津地区海岸



地合地区海岸



福浦地区海岸



七類地区海岸



笠浦港周辺



湖陵港周辺



多伎地区海岸



仁摩港周辺



釜浦地区海岸

皆様からのご意見や感想、ひとこと随想、また漁村に関する話題などお待ちしております。

〒690-0007 島根県松江市御手船場町575番地

漁業協同組合 JFしまね「明るい漁村」係

※E-mail: shidou@jf-shimane.or.jp または、

FAX: 0852-27-6130 でもお寄せ下さい。

本誌のバックナンバー(pdf形式)をホームページで公開しています。

〈JFしまねWEBサイト〉 <http://www.jf-shimane.or.jp/akarui.html>

編集後記

先日、息子の学童クラブのプール監視当番をした時のこと。1～2年生の半分以上が泳いだり潜ったりしていて感心しました。聞くとみんな3～4歳の頃からスイミングスクールに通っていると。自分の幼い頃は、丁寧に泳ぎを覚えてもらった記憶はなく、海へ投げられ続けるうちになんとなく泳げるようになったもの。全く泳げない息子をなんとか水に慣れさせようとあれこれ言っても「無理」の一言。しばらくして、頭の前から足の先までプール用フロートを巻きつけた少年がこそこそプールのほうへ…。もしやと思いじっと見ていると、こっちを見て『にっこり(笑)』。やっぱり。(D)

明るく、漁村 165号

編集兼発行人／漁業協同組合 JFしまね
〒690-0007 島根県松江市御手船場町575

TEL 0852-210001(代)
FAX 0852-276130